

(別紙様式)

中山間ふるさと・水と土保全対策事業 中山間ふるさと・水と土保全推進事業

事業実施計画

計画期間：令和7年度～令和11年度

(令和6年度)

計画内容

1. 事業実施の基本方針
2. 事業計画
3. 事業実施の成果目標と実績
4. 事業評価と対応

鳥取県

1. 事業実施の基本方針

目標年度	令和１１年度
現状と課題	中山間地域は、豊かな自然や景観、歴史と文化に育まれ、地域住民の生活の場としてのみならず、県土の保全、食料の供給源や食などの多面的な機能を有しており、長い年月をかけて先人たちが大切に守り育ててきた貴重な財産である。しかしながら、本県の中山間地域の現状は過疎化や高齢化の進展により、耕作放棄地の増加のみならず農業の共同活動等を支える担い手が不足し、集落機能の維持・存続も困難となりつつある地域もある。 このため、将来にわたる農業・農村の維持保全と保有する多面的機能を維持発揮するための効果的な対策をどのように複合的に展開していくかが重要な課題となっている。
事業実施の基本方針	本県では、１０年後においても農業の活力を維持し、高めていく施策を推進するための羅針盤として「鳥取県農業生産１千億円達成プラン」を平成３０年３月に策定し、目標の実現に向け各種施策を展開しているところである。また、当該プランでは、基本方針のひとつとして「地域の農業を元気にし、農とともに活きる鳥取県を実現する」ことを位置付けており、地域資源を活用した生産活動や魅力づくりを推進するほか、皆で支え合う豊かな村づくりに取り組むこととしている。 このため本事業では、社会貢献活動に意欲的なボランティアや企業、市街地住民組織といった多様な外部サポーターと連携した地域農業の推進や地域資源の保全・活用への取組を支援するとともに、農地・農業用施設に係る維持管理労力の低減、長寿命化、防災減災に向けた調査研究並びに普及啓発等への支援を通じて、地域農業の維持・活性化を図っていく。
計画後の目指す姿	多様なサポーターとの連携や関係人口の増加により、中山間地域の特性や資源を活かした生産活動や保全活動、魅力づくりが拡大するとともに、農村地域を守り、支えていく新たな人の流れや体制が構築されていくことを目指す。

2. 事業計画

事業（取組）名	事業（取組）内容	達成すべき目標との関連	事業実施要綱上の該当項目	５ヶ年間の事業（量）内容					総事業費（千円）
中山間地域地域の維持・活性化に向けた取組	農山村ボランティア事務局運営を民間団体に委託し、ボランティアの人員確保と受入地区への派遣や受入地区の拡大に向けた調整を行うとともに、活動へのアドバイスや集落調査により、農村の実情や課題、求めている支援等について情報を整理し、今後の施策へ活用を図る。 （とっとり農山村資源保全活動推進事業等）	①	ふる水第3-2-(3) 棚田第3-2-(1)	中山間地域における人手不足、後継者不足等への効果的な支援として、大学生や一般社会人などから構成される農山村ボランティアを派遣する取組を継続的に進め、５ヶ年で農山村ボランティアの受入集落（地域）を５０集落（地域）まで拡大する。					55,945
	中山間地域の農村集落と社会貢献に前向きな企業や市街地住民組織のマッチングにより、双方にメリットがある持続的な資源保全活動や営農活動、加工品づくり、交流等の取組を継続的に進め、農村資源の保全や地域活力の増進を図る。 （共生の里推進加速化事業、むら・まち支え合い共生促進事業）	①	ふる水第3-2-(3) 棚田第3-2-(1)	中山間地域における人手不足、後継者不足等への効果的な支援として、農村集落と企業や市街地住民組織等の多様なサポーターとのマッチングを継続的にすすめ、５ヶ年で累積協定地区数を２０地区まで拡大する。					12,655
農業農村の防災技術向上に向けた取組	ため池等の防災・減災に向けた取組や農地・農業用施設災害に関する技術向上研修会等を実施することで普及・啓発を行う。 （農村防災体制強化事業）	②	ふる水第3-2-(3)	ため池等の防災・減災に向けた取組や農地・農業用施設災害に関する技術向上研修会等を実施することで普及・啓発を行う。					170
ため池の適正管理に向けた取組	ため池の適正管理・防災意識向上を図るため、管理状況調査及び貯水量調査を実施し、「池干し」実施による効果を検証し、ため池の管理手法を管理者に啓発する。 （ため池管理適正化・防疫対策推進事業）	③	ふる水第3-2-(1)	ため池の適正管理・防災意識向上を図るため、貯水量調査を実施し、水上ドローンでの簡易測量方法の確立を目指す。また「池干し」実施による効果を検証し、ため池の管理手法を管理者に啓発する。					9,100
農業・農村等の保全や機能発揮に向けた調査・研究、普及啓発の取組	農業者が安心して営農に取り組める環境を整備するため、「DXを活用した施設監視システムの構築」により農家等による農業水利施設の監視体制を支援し、「農家や管理者の維持管理意識を向上」することにより適時・適切な維持管理を推進する。 （DXを活用した農業水利施設管理推進事業）	④	ふる水第3-2-(1)	農業者が安心して営農に取り組める環境を整備するため、「DXを活用した施設監視システムの構築」により農家等による農業水利施設の監視体制を支援し、「農家や管理者の維持管理意識を向上」することにより適時・適切な維持管理を推進し、５ヶ年でシステムを活用した施設点検結果の登録数を８５件／年となるよう啓発する。					12,700
				令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和１０年度	令和１１年度	
中山間ふるさと・水と土保全対策事業（ふる水と土基金）	計画事業費（千円）			20,178	14,218	7,918	7,918	7,718	57,950
	（実績額）								0
中山間ふるさと・水と土保全推進事業（棚田基金）	計画事業費（千円）			6,172	6,512	6,712	6,712	6,512	32,620
	（実績額）								0

3. 事業実施の成果目標と実績

達成すべき目標	指標	基準値	目標値	年度ごとの実績					達成度	備考
				令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
①	農業・農村の保全、活性化に係る共同活動に多様な人材が参画する地域数の増加	多様な人材の参画地域数 (単年及び累積)	39地域/年	50地域/年						とっとり農山村資源保全活動推進事業
			累計19地区	累計20地区						・共生の里推進加速化事業 ・むら・まち支え合い共生促進事業
②	農業農村の防災対策等に関する取組地域の拡大	研修会の実施	2回/年	2回/年						農村防災体制強化事業
③	ため池の適正管理に向けた管理手法の実施	調査研究の取組数	-	1件						ため池管理適正化・防疫対策推進事業
④	農地・農村等の保全や機能発揮に向けた調査・研究・普及啓発の取組を推進	システムを活用した施設点検結果の登録数	33件/年	85件/年						DXを活用した農業水利施設管理推進事業

4. 事業評価と対応

達成すべき目標	事業実績の評価		備考
	外部有識者の所見	所見を踏まえた改善方針	
①	農業・農村の保全、活性化に係る共同活動に多様な人材が参画する地域数の増加		
②	農業農村の防災対策等に関する取組地域の拡大		
③	ため池の適正管理に向けた管理手法の実施		
④	農地・農村等の保全や機能発揮に向けた調査・研究・普及啓発の取組を推進		